

カビの発生を軽減

住まいの快適レポート

万全な湿気対策で梅雨時期を快適に過ごそう

高温多湿の梅雨時期。はじめ、不快な上、住まいや健康にも影響するカビの発生も急増。湿気対策を怠らず、快適な暮らしを実現！

カビの豆知識

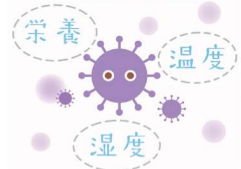
カビは真菌と呼ばれる微生物の一種で、空気中のどこにでも漂っていて、多彩な種類が存在します。

たとえば麹カビは日本酒や味噌などの発酵食品に欠かせず有益なものです。家でよく見られる黒カビは室内の湿った場所や水回りなどで発生し、美観を損なう上、健康に悪影響を与える可能性もあります。

カビが繁殖しやすい三大要素

- 湿度 70% 以上
- 温度 25～30℃
- カビの栄養となる食べかすや埃など

カビの発生原因



カビの発生しやすい場所

- 浴室・洗面所
- トイレ
- キッチンシンク周辺
- クローゼット・靴箱
- 窓のサッシ
- ベッド・布団
- エアコン内部

カビの繁殖を軽減する予防策

カビ対策の基本は、湿度管理

室内の湿度を常に適切なレベルに保つよう徹底。1日数回は、窓を開けて換気しましょう。梅雨時期は、除湿機を活用し、湿度 40～60% を心がけましょう。エアコンのドライ機能も有効です。

こまめな掃除でカビの栄養源を取り除く

食料品はもちろんのこと、埃や塵などの汚れは、すべてカビの栄養に。こまめな掃除がカビの繁殖を防ぐ近道です。室内の空気をきれいにしてくれる空気清浄機の設置も一考です。



室内干しは極力さける

室内干しは、湿度を上げてしまう要因のひとつ。また洗濯物も乾きにくいので、菌が繁殖し、不快な臭いに加え、衣類にカビが生えてしまうケースも。どうしても干す際は、サーキュレーターや除湿機稼働しましょう。

カビが好むバスルームは徹底的な対策を

湿度、温度、栄養の条件が揃いやすいバスルームはカビの温床。お風呂上がりに、水シャワーを床や壁にかけるほか、できれば換気扇は 24 時間稼働を。機能性に優れたリフォームもおすすです。

家具の配置やインテリア素材を工夫

家具の配置は空気の流れに大きく影響。壁から少し離して配置することで、空気の循環を促進し、家具の裏側や壁のカビの発生を防ぐことに役立ちます。家具をはじめインテリア素材も吸湿性や調湿性に優れたものを選ぶようにしましょう。



オススメ商品 エコカラットプラス

湿気は通すが、水や汚れはほぼ通さない。独自のテクノロジーで実現した機能建材。



2025年新品 リブスレート

調湿、ニオイ吸着、VOC低減に加え、お手入れもしやすい内装壁機能タイルです。湿気やニオイの気になるエリアにおすすめです。



2025年新品 シングレース

お風呂上がりや洗濯物の部屋干しなど、洗面室は湿気が多くなりがちです。エコカラットプラスなら湿気を吸収し、カビの抑制も期待できます。



2025年新品 ルランジュ

商品のお問合せは…

(株)江沢建設



〒302-0001 茨城県取手市小文間5243-1
TEL. 0297-77-8845 FAX. 0297-77-8880
<https://ezawa.sakura.ne.jp>